

**PRESSBOOK**

CHEN Fei

*Geijutsu Shincho*

*December 2016*



## 加藤泉×陳飛 日中2人展が 生む磁場、電場

作家が作家を招聘した、というユニークな2人展。加藤泉（1969年生れ）と陳飛（1983年生れ）は香港で知り合った。たまたま隣の部屋で展覧会を行ない、意気投合。今回は加藤が陳を誘って2人展が実現した。陳の作品は日本初公開だが、マンガやアニメの影響が濃厚に感じられる。しかし実際に作品を目の当たりにすると、「力強く、とても絵画的」とは加藤の評。一方、

知られる加藤は、数年前からソフトビニールの作品を手掛けている。ソフビは日本発の技術で、作品の素材として使っているアーティストはおそらく世界で1人だけという。オリジナルの金型から生まれる“製品”を加工し、“作品”化する。以前は発電所だった美術館での展示構成は、空間のほどよい余白が心地よく、作品と場が見事に響き合っている。

「9・18 ↓ 12・18 下山芸術の森 発電所美術館」



「上」陳飛《ここにいた》2016年 アクリル、カンヴァス 240×180cm  
Courtesy the Artist ©2016 Chen Fei  
「左」かつては発電所だった空間に、加藤の立体。《無題》2016年 木・ソフトビニール、アクリル 120×38×70cm  
撮影：佐藤祐介 Courtesy Nizayama Art Park Power Plant Museum ©2016 Izumi Kato